

カビ毒検査のご案内

カビ毒（マイコトキシン）はカビが生育する過程で産生する毒性物質です。発がん性のあるものもあり、人体、家畜の健康に被害をもたらします。カビが死滅してもカビ毒は残存するため、注意が必要です。当協会では精密機器を用いて、さまざまな種類のカビ毒を検査しています。

さまざまなカビ毒検査のご要望にお応えします

◆ 検査可能なカビ毒

総アフラトキシン (アフラトキシンB1,B2,G1,G2の総和)	T-2トキシン
アフラトキシンB1	HT-2トキシン
アフラトキシンB2	ゼアラレノン
アフラトキシンG1	オクラトキシンA
アフラトキシンG2	シトリニン
デオキシニバレノール (DON)	フモニシンB1
3,15-アセチルデオキシニバレノール	フモニシンB2
ニバレノール	フモニシンB3
フザレノンX	ステリグマトシスチン

※ 上記以外のカビ毒については別途お問い合わせください。

◆ 基準値のあるカビ毒

○食品	総アフラトキシン	… 10μg/kg	全ての食品
	デオキシニバレノール	… 1.1mg/kg	小麦（暫定基準）
	パツリン	… 50μg/kg	りんご果汁
○飼料	アフラトキシンB1	… 0.02mg/kg	配合飼料 牛用（ほ乳期子牛用及び乳用牛用を除く）、豚用（ほ乳期子豚用を除く）、鶏用（幼すう用及びブロイラー前期用を除く）、うずら用
		… 0.01mg/kg	配合飼料（ほ乳期子牛用、乳用牛用、ほ乳期子豚用、幼すう用、ブロイラー前期用）
	ゼアラレノン	… 1mg/kg	家畜に給与される飼料
	デオキシニバレノール	… 1mg/kg	家畜等（生後3ヶ月以上の牛を除く。）に給与される飼料
		… 4mg/kg	生後3ヶ月以上の牛に給与される飼料

当協会は、カビ毒試験において、試験所の能力に関する国際規格であるISO/IEC17025試験所認定を取得しています。精度、信頼性の高い検査結果をご提供いたします。

お申込み・お問い合わせ



03-3668-0911



rencho-g-hed@kokken.or.jp

担当 : 連絡調整グループ

一般財団法人 日本穀物検定協会

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町15-6

インターネット : <http://www.kokken.or.jp>